

子どもたちの未来のために、光村図書は、教科書の作成にあたって、「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

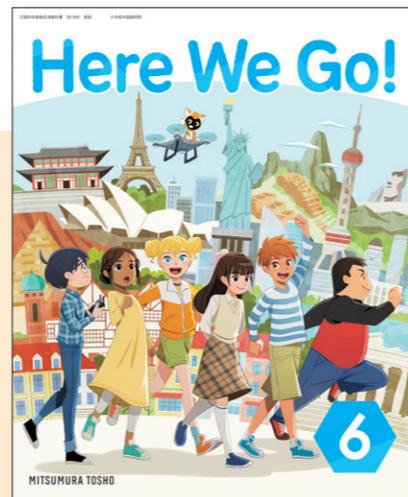
- ・原料や製法など、環境に配慮した紙を使用しました。
- ・環境と健康にやさしい、エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- ・児童の負担を軽減するため、堅牢で薄い紙を開発し、使用しています。
- ・カラーユニバーサルデザインに関して、細心の注意を払いました。
- ・児童の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- ・特別支援教育の視点から、専門家の入念な校閲を受けました。



38 光村 小学校外国語科 英語 516  
第5学年用

## Here We Go! 5

教科書に登場するキャラクターたちが、目の前に広がる英語の世界に向かって、元気よく走り出しています。一緒に新しい世界に踏み出そう。



38 光村 小学校外国語科 英語 616  
第6学年用

## Here We Go! 6

英語でできることが少しずつ、確実に増えていく。さあ、まちがいを恐れずに、世界へ、未来へ飛び出そう。

### 著作関係者

〈代表〉

加賀田哲也 大阪教育大学教授  
太田 洋 東京家政大学教授

〈監修〉

小泉 仁 神奈川歯科大学特任講師

安達理恵 椋山女学園大学教授  
阿部志乃 横須賀学院小学校教諭  
Aleda Krause 聖学院大学元講師  
浦谷淳子 浜松学院大学非常勤講師  
奥平明香 沖縄県豊見城市立ゆたか小学校教諭  
折橋見美 長野県佐久市立野沢小学校・泉小学校教諭  
加藤拓由 岐阜聖徳学園大学准教授  
衣笠知子 園田学園女子大学教授  
ジョージ・クマザワ 都留文科大学非常勤講師  
向後秀明 敬愛大学教授  
渋谷 徹 新潟県新潟市立亀田小学校校長  
澁谷裕子 神奈川県横浜市立日限山小学校非常勤講師  
白石裕彦 東京都世田谷区立上北沢小学校主任教諭  
鈴木 薫 神奈川県横浜市立篠原中学校校長  
関 紀子 千葉県千葉市立幕張南小学校元校長

関谷美佳子 秋田県潟上市立天王小学校元校長  
染谷藤重 京都教育大学専任講師  
高木浩志 奈良教育大学特任講師  
土屋佳雅里 早稲田大学講師  
長沼君主 東海大学教授  
幡井理恵 昭和女子大学附属昭和小学校講師  
畑江美佳 淑徳大学教授  
濱田会美 東京都品川区立伊藤小学校主任教諭  
東 仁美 聖学院大学教授  
吹原顕子 大阪商業大学准教授  
堀田 誠 山梨大学准教授  
本田勝久 千葉大学教授  
宮崎瑞之 秀明大学特任准教授  
村岡美奈子 東京都世田谷区立池之上小学校指導教諭  
森 篤嗣 武庫川女子大学教授  
森本敦子 高野山大学専任講師  
米田 進 前秋田県教育委員会教育長  
Robert Rowland 聖学院大学助教  
和田憲明 姫路大学教授  
渡辺香代子 埼玉県幸手市立上高野小学校教諭  
渡辺麻美子 明星学園小学校非常勤講師

〈カラーユニバーサルデザインに関する校閲〉  
市原恭代 工学院大学准教授  
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO) 理事

〈特別支援教育に関する校閲〉  
氏間和仁 広島大学大学院准教授

〈学習者のユニバーサルデザインに関する校閲〉  
小貫 悟 明星大学教授

〈防災教育に関する校閲〉  
木村玲玖 兵庫県立大学教授

〈人権に関する校閲〉  
出口真紀子 上智大学教授

〈外国人児童生徒等教育に関する校閲〉  
浜田麻里 京都教育大学教授

光村図書出版株式会社編集部

### 内容解説資料

〈発行者〉 吉田 直樹  
〈発行所〉 光村図書出版株式会社  
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9  
電話：03-3493-2111 (代表)

光村図書ウェブサイト

光村図書

検索



<https://www.mitsumura-tosho.co.jp>

〈印刷〉 協和オフセット印刷株式会社  
〈デザイン〉 wip-er graphics  
〈イラスト〉 八木橋麗代

本誌上のQRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# Here We Go!



編集の  
趣旨と特色

内容解説資料

# Here We Go!

世界とつながる、  
はじめての一步



## 編集の基本方針

教育基本法、学校教育法の理念および学習指導要領の目標を実現するために、次の編集の基本方針を立てました。

互いの気持ちを伝え合う楽しさを知り、  
互いの違いを大切にできるように

多様な考えや  
価値観を  
認め合えるように

言葉を通して  
伝え合う喜びに  
気づけるように

楽しく学び、  
英語が大好きに  
なれるように

### 「つながり」を大切にした教科書

Here We Go! が大切にしているのは、「つながり」です。言葉を介して、いかに国と国、自分と他者がつながることができるか。教科書では、その基盤となる多様性を尊重できる子どもたちの育成をめざしています。このことが「個性豊かなキャラクター」や「世界の友達」、5年 p.78 の「Everyone Is Special の詩を作る活動」などにつながりました。この教科書を通して、子どもたちの「英語のスキル面の向上」だけでなく「心の成長」、そして「人格の完成」に少しでも貢献できればうれしいです。



かがた てつや  
**加賀田 哲也**  
Here We Go! 編集代表  
大阪教育大学教授

### 心と言葉が離れない、豊かな言語活動を

新しい Here We Go! は、どの先生方にも教えやすい構成や内容になることを大切にしました。「何をどう学ぶか」を明確に、「授業の流れ」が見えるように。また、豊かな言語活動につながるように、3・4年生で触れてきた語句や表現に何度も出会えるような工夫をしました。この教科書を通して、児童のみなさんが自分のことを言葉に乗せて伝える喜びを味わえるようになるとともに、「心と言葉が離れない」授業が増えていくことを願っています。



おおた ひろし  
**太田 洋**

Here We Go! 編集代表  
東京家政大学教授

# 光村図書のHere We Go! 3つの特色

## 特色 1

### 確かな英語の力を育む構成

英語でできるようになることが、ひと目でわかる教科書です。

- 1 学ぶことが見える「CAN-DO」「重点化領域」…………… p.6
- 2 ゴールまでの流れが見える Unit 構成…………… p.8
- 3 文字の学習は、スモールステップで丁寧に…………… p.14
- 4 各学年3か所に「まとめ」の活動を設定…………… p.16

## 特色 2

### 互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実

児童の「伝えたい!」という気持ちを高められる工夫がいっぱいの教科書です。

- 1 一人一人の「伝えたい!」を大切にされたゴール活動を設定…………… p.18
- 2 「既習表現」の活用場面を随所に設定…………… p.20
- 3 本体から取り外せる「Picture Dictionary」を各学年に用意…………… p.24

## 特色 3

### 楽しく学び、視野が広がる豊かな教材

学ぶ楽しさを実感しながら、世界に目を向けられる教科書です。

- 1 英語の世界へ引き込む、続きを見たくなるアニメーション…………… p.26
- 2 学習の成果が見える「All About Me」…………… p.30
- 3 口ずさみたくなる、チャンツ・歌・絵本教材…………… p.32
- 4 世界の多様性に気づく「Let's watch and think.」「世界の友達」…………… p.34
- 5 他教科連携、SDGs 等への対応…………… p.36

- 教科書の構成…………… p.4
- 編集上の工夫…………… p.38
- デジタル教科書・デジタル教材…………… p.42
- 指導書・教材のご案内…………… p.44

# 教科書の構成

新たに「学年の目標」を設定し、各学年を3つに分けて段階的なテーマを設け、学習の見通しがもてるようにしました。Unitは Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! で構成。全体で8つのUnitと3つのまとめで構成しました。

## 学年の目標とテーマ

6年生の目標

日本や世界、自分の将来のことについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、伝え合うことができる。

5年生の目標

自分や相手のこと、身近な人や地域のことについて、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、伝え合うことができる。

日本のこと  
(Unit 1・2・3)

世界のこと  
(Unit 4・5・6)

将来のこと  
(Unit 7・8)

自分のこと  
(Unit 1・2・3)

身近な人のこと  
(Unit 4・5・6)

地域のこと  
(Unit 7・8)

## Unitの構成

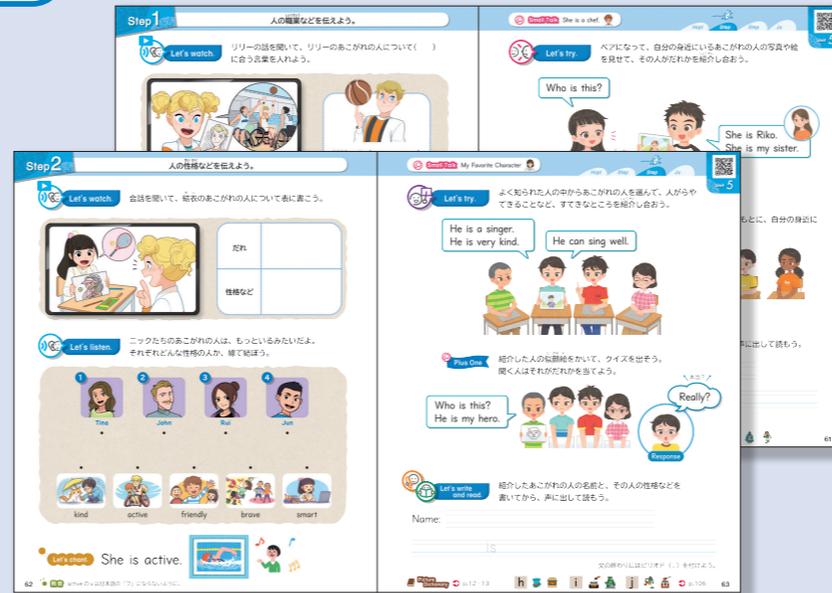
### 導入 Hop!



導入のHop!では、初めにUnitのゴールを示し、学習の見通しがもてるようにしました。パノラマのイラストとアニメーションのストーリーを手掛かりに、英語を使う目的や場面・状況を確認します。

### 展開 Step!

Hop!で見たアニメーションの一場面を見て、学習する表現に気づきます。聞く活動やチャンツで表現に慣れ、既習の表現を加えながら伝え合います。Step 1とStep 2を通して学びます。



### ゴール Jump!



そのUnitで重点的に学ぶ領域の活動を行い、世界の映像を見て、見方・考え方を広げます。ゴールの言語活動に取り組み、最後に「ふりかえろう」で学習の達成度を確認します。

## Alphabet Time

Unitと合わせて行う読み書きの学習 Alphabet Timeは、5年生のAlphabet Time 4以降を巻末にまとめ、系統的な文字の学習ができるようにしました。



## まとめ (各学年3か所)

数Unitを学習した後、学年3か所にまとめとして、世界の友達/ You can do it!を設定。学んだ表現を受容・発信する場面とし、児童のパフォーマンスを評価できるようにしました。

### 世界の友達



### You can do it!



各学年のUnit数は  
8つにスリム化!  
Unitは  
7時間で統一!

# 確かな英語の力を育む構成

## 学ぶことが見える「CAN-DO」「重点化領域」

「学年の目標」やUnitの重点化領域を示すことで、児童にとっては学習の目標が明確になり、先生にとっては指導と評価の一体化を進めるのに役立ちます。

### 学年で「できるようになること」を明確に

新たに「学年の目標」を設定し、5つの領域ごとに「できるようになること」をリスト化しました。1年間でどんなことができるようになるか、見通しをもって学習を始められます。

「英語を学ぶときの心構え」をキャラクターのせりふとして示しました。いつでも目にするできるように、教科書からはみ出す作りになっています。

5年生でできるようになること			
5年生の目標	自分や相手のこと、身近な人やちいさな動物について、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、伝え合うことができる。		
聞く	1 簡単な単語や表現を聞き取ることができる。 2 場所やねだんなどの具体的な情報を聞き取ることができる。 3 短い話のおおまかな内容をとらえることができる。	● Unit 1-8 Let's listen. ● Unit 3, 4 Jump! ● Unit 6, 7 Jump! ● 世界の友達 1, 2, 3	😊😊😊😊 😊😊😊😊 😊😊😊😊
読む	1 大文字と小文字を見分けたり、文字の名前を発音したりすることができる。 2 文字と音の関係に気づき、ずいそくしながら単語を発音することができる。 3 簡単な単語を見つけたら、その意味をとらえたりすることができる。	● Alphabet Time 1, 2, 3 ● Alphabet Time 4-8 ● Unit 5, 8 Jump! ● 英語の物語	😊😊😊😊 😊😊😊😊 😊😊😊😊

表現	到達目標(CAN-DO)	関連する主な教材	自己評価
話す(やり取り)	1 指示や依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。	● Unit 6, 7 Jump!	😊😊😊😊
	2 身近なことについて、自分の考えや気持ちなどを、伝え合うことができる。	● Unit 2 Jump!	😊😊😊😊
	3 自分や相手のことや身の回りのものなどについて、その場で伝え合うことができる。	● You can do it! 1	😊😊😊😊
話す(発表)	1 身近なことについて、話すことができる。	● Unit 4 Jump!	😊😊😊😊
	2 自分のことについて、話すことができる。	● Unit 1, 3 Jump!	😊😊😊😊
	3 身近なことについて、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。	● Unit 5, 8 Jump! ● You can do it! 2, 3	😊😊😊😊
書く	1 大文字と小文字を、形や高さのちがいに注意して、書くことができる。	● Alphabet Time 1-8	😊😊😊😊
	2 簡単な単語や表現を書き写すことができる。	● Unit 4-8 Let's write and read.	😊😊😊😊
	3 自分のことや身近な簡単なことについて、例文を参考に、書くことができる。	● Unit 5, 8 Jump!	😊😊😊😊

### 到達目標(CAN-DO)

5つの領域の到達目標(CAN-DO)は、学習指導要領に示された「目標」ア、イ、ウとわかりやすく対応しています。

### 自己評価

該当する教材ごとに4段階で自己評価を付けます。

5年生では、6年生の目標も明示。6年生では、中学校の目標を示しました。

### 英語の学び方

こんなことを心がけよう。

- やってみよう
- 心を開こう
- まちがいを学ぼう
- 友達から学ぼう
- ちがいを楽しもう

あなたはもう学びたいかな。

## テーマごとにバランスよく重点化領域を設定

5領域のうち重点的に扱う領域を教材ごとに設定し、目次にアイコンで明示しました。児童にとっては学習の目標が明確になり、先生にとっては指導と評価の計画を立てる際の目安になります。

### 身近な人のことを伝え合う (テーマ)

Unit 4	He can run fast. She can do kendama. Goal 友達や先生のことをよく知るために、できることをヒントにしたクイズを発表できる。	🗣️ 🎵 🎮 1.50
Unit 5	My hero is my brother. Goal 自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。	🗣️ 🗣️ 🗣️ 1.58
Unit 6	Where is the library? Goal だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合うことができる。	🗣️ 🗣️ 1.68
世界の友達 2	中国、オーストラリア Goal だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合うことができる。	🗣️ 1.76
まとめ	You can do it! 2 Everyone Is Specialの詩を作ろう。	🗣️ 🗣️ 1.78



指導と評価の一体化につながる!

### 重点化領域の設定

テーマごとに、各領域について最低1回以上は評価の場面を設定し、5つの領域のバランスのとれた指導と評価ができるように設計しています。

## 「ふりかえろう」で領域ごとに自己評価

Unitや「まとめ」の最後には、「ふりかえろう」の欄を設け、その教材の重点化領域の自己評価を付けて、達成度を把握できるようにしました。

### ふりかえろう

- 紹介文から、人の職業や性格などを読み取ることができた。
- 人の職業や性格などについて書くことができた。
- 人の職業や性格などを言って、あこがれの人を紹介することができた。

くふうしたことや次に生かしたいこと

### 5つの領域のふりかえり

ここで付けた自己評価を集計して、「できるようになること」の到達目標がどの程度達成できているかを把握し、今後の学習計画に生かします。

自由記述欄を設けました。次回の学習に工夫を取り入れたり、以降の学習を調整したりするなど、主体的に学習に取り組む態度の育成につながるようにしました。

2

ゴールまでの流れが見える Unit 構成

Hop! の活動

Unit は、Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! の順で見開きごとに進みます。単元でできるようになることを Hop! 右上の Goal 欄で確認したら、活動を始めましょう。

授業の流れをそのまま紙面化

Unit 全体は見開きごとで統一し、授業の流れを順に整理して配置しました。紙面にない活動ははさんで補ったり、活動の順番を入れ替えたりしなくても、ゴールに向かって順に学習が進められます。

この Unit の Story の場面や状況を示しています。

Story

見開きページを大きく使ったパノラマのイラストを手掛かりにして、アニメーション映像のストーリーを視聴し、話の内容をつかみます。



Unit 5 My hero is my brother. Content including character photos (Takahashi Tomotaka, Dan Smith, Ms. Mutai, Katsura Kaishi, Osaka Naomi), a classroom scene, and activity icons like Story, Let's listen and point, and Small Talk.

英語のリズムや文化に触れられる英語の歌をすべての Unit に設定。

Small Talk の導入に使える、既習表現を使用したアニメ。1 Unit につき 3 か所用意。

別冊の Picture Dictionary へのリンク。Unit に関連する語句を示しています。

Goal

この Unit でできるようになることを示し、文中には「～のために」という学習の目的を明記しました。その下には、各見開きで行うことを端的に記しました。

Unit のゴールが見える

Hop! ページの右上に、Unit のゴールをしっかりと示しました。ゴールからのバックワードデザイン、いわゆる「逆向きの設計」で単元を構成し、「できるようになること」を最初に確認してから学習を始められます。

音声や映像を視聴できる QR コード。

この Unit で重点的に扱う領域をアイコンで表示。これらの重点化領域は、目次でも確認できます。

About You

Unit の話題を自分のことに引きつけて主体的に考えるための問いかけを示しています。

Let's listen and point.

パノラマのイラストや別冊 Picture Dictionary を使い、学習する語句に慣れる活動です。

2

ゴールまでの流れが見えるUnit構成

Stepの活動

Stepは、Step 1とStep 2の2見開きで構成。どちらも流れは同じで、聞く活動から徐々に話す・書く・読む活動へと進めるよう、各コーナーを整理して配置しました。

Stepで行うこと

言語習得の理論に沿った学習の流れ

Stepは、聞く活動から始まり、チャンツで口を慣らし、話す活動や書く活動に進みます。豊かなインプットから少しずつアウトプットに進む、言語習得の理論に沿った学習の流れです。

Let's watch.

Hop!のStoryで見たアニメーションの一場面を見て、Stepで学ぶ主な表現に気づきます。

Let's listen.

英語を聞いて質問に答える活動です。

Let's chant.

オリジナルチャンツのリズムに乗って英語の表現を声に出し、Unitの語句や表現に慣れる活動です。

Step 1 人の職業などを伝えよう。

Step 2 人の性格などを伝えよう。

Let's watch. 会話を聞いて、結衣のあこがれの人について表に書こう。

だれ	
性格など	

Let's listen. ニックたちのあこがれの人は、もっといるみたいだよ。それぞれどんな性格の人が、線で結ぼう。

1 Tina 2 John 3 Rui 4 Jun

kind active friendly brave smart

Let's chant. She is active.

英語の発音の際のワンポイントを表示。

Small Talk She is a chef.

Let's try. よく知られた人の中からあこがれの人を選んで、人がらやできることなど、すてきなところを紹介し合おう。

He is a singer. He is very kind. He can sing well.

Plus One 紹介した人の似顔絵をかいて、クイズを出そう。聞く人はそれがだれかを当てよう。

Who is this? He is my hero. Really? Response

Let's write and read. 紹介したあこがれの人の名前と、その人の性格などを書いてから、声に出して読もう。

Name: \_\_\_\_\_ is \_\_\_\_\_

文の終わりにはピリオド(.)を付けよう。

Picture Dictionary p.12-13 h i j p.106 63

Stepごとに表現を分けて提示

このUnitでは、Step 1で「人の職業などを伝える」表現を、Step 2で「人の性格などを伝える」表現を学習します。このようにStepごとに主要な学習表現に触れ、ゴールに向かって着実に学習が進むようにしました。

学習する主な表現 Step 1

人の職業などを伝える表現  
He is my brother.  
He is a wheelchair basketball player.

学習する主な表現 Step 2

人の性格などを伝える表現  
She is very strong.  
She is famous.  
She is shy.

Small Talkの導入に使える、既習表現を使用したミニアニメ。

Let's try.

学習する語句や表現を使い、お互いの考えや気持ちを伝え合います。予想してから質問したり、自分で答えを考えたりできる、話す目的や必然性のある活動です。

Plus One

Let's try.の話題を別の相手に伝えたり、詳しく尋ねたりする活動です。既習表現を加えて伝え合うことで、思考力・判断力・表現力を育みます。

あいづちやほめ言葉などをResponseとして各Unitで紹介。

Let's write and read.

学習した語句や表現をなぞったり書き写したりした後、声に出す活動です。5年の冒頭から6年の終盤まで設定しており、最後には4線に文が書けるよう、段階的に示しています。

楽しみながらアルファベットの音と文字の関係に気づけるコーナーです。

2 ゴールまでの流れが見えるUnit構成

**Jump! の活動** 慣れ親しんできた語句や表現を確認する活動や、世界の映像を見て考える活動をふまえて、単元のゴール活動に取り組みます。

**Unitの重点化領域に取り組むページ**  
Jump! では、Unitのゴールとして5領域のアイコンで示している重点化領域の活動に取り組みます。最後に「ふりかえろう」でUnit全体の学習の達成度を確認します。

**重点化領域の活動①**  
ここまで慣れ親しんだ語句や表現を確かめる、評価の対象となる活動を行います。このUnit 5では読む活動です。

**Let's watch and think.**  
世界の映像を見て、異文化への理解を深めながら、ゴール活動のヒントにします。

「世界の友達」ページで登場している海外の子どもたちです。一人一人の考えや意見を知ること、より身近に世界の文化を感じることができます。

Jump!で行うこと

**Jump!** 自分の興味・関心を伝えるため、あこがれの人を紹介することができる。

**Goal**

**Let's read.** 和希が身近な人について紹介する文を書いたよ。だれのことを紹介しているかな。

She is my teacher.  
She can do *kendama*.  
She is cool.

Ms. Miller ( )  
Lily ( )

紹介している人物に○を付けよう。

**Let's watch and think.** 世界の友達が、あこがれの人を紹介するよ。どんなふうに紹介しているかな。

She can ... Ash  
He is ... Julian

どんな内容をどんな順番で紹介しているかな。

**Phrase Hunt**  
既習表現を思い出すきっかけとなる画面が、QRコードから見られます。クラスで見て、ゴールで使えるような表現を出し合います。

**活動のモデル動画**



QRコードから、ゴール活動の参考となるモデル動画を見ることができます。



**重点化領域の活動②**  
Step 1, 2で学んだ語句や表現を活用したり、既習表現を加えたりして、お互いの考えや気持ちを伝え合います。このUnitでは「書く」「話す(発表)」活動です。

**Phrase Hunt** 使える表現をさがして、みんなで共有しよう。

**Let's write and speak.** これまでに紹介した人の中から1人を選び、「My Hero カード」を作り、グループになって発表し合おう。

Look at this.  
She is Abe Uta.

She is my hero.

**My Hero**  
Name: Abe Uta  
She is an athlete.  
She is brave.

●書くときに気をつけよう  
発表の後に友達と読み合えるように、ていねいに書こう。

**ふりかえろう**

- ① 紹介文から、人の職業や性格などを読み取ることができた。
- ② 人の職業や性格などについて書くことができた。
- ③ 人の職業や性格などを言って、あこがれの人を紹介することができた。

くふうしたことや次に生かしたいこと

巻末の「All About Me」のUnit 5に、あなた自身のことを書き入れよう。 p.110

**Unitの学習を振り返る**  
Unitの最後には、「ふりかえろう」を設け、重点化領域ごとにできるようになったことを4段階で確認します。自分なりの工夫を自由に記入して、次の学習に生かせるようにしました。

**ふりかえろう**  
Unitで重点化する領域の活動ごとに整理。下段には、自分なりに工夫したことや、学習の進め方を調整した点などを記入できます。

Unitで学んだことをAll About Meに書き込みます。

活動の際に気をつけたいことを「～に気をつけよう」の形で示しました。

## 文字の学習は、スモールステップで丁寧に

アルファベットの読み書きの学習は、児童の学ぶ意欲を大切にしながら、中学校の学習にスムーズに移行できるよう、段階を追って丁寧に提示しました。

## Alphabet Time

Unitの活動と合わせて行うページです。5年前半のAlphabet Time 1～3では、①大文字 ②小文字 ③大文字・小文字の3段階で、アルファベットの名前と形に慣れていきます。Alphabet Time 4以降は巻末にまとめ、体系的な文字の学習ができるようにしました。

Alphabet Time 3

① ページ下のAaからZzまでの文字を指しながら、声を出して読もう。

② A, Bを参考にして、大文字D, E, Gがどのように小文字d, e, gに変化したかを友達と考えよう。

③ 大文字と小文字のアルファベットカードを用意しよう。ペアになって相談しながら、大文字と小文字のセットを作ろう。

④ ページ下のAaからZzまでの大文字と小文字の形や高さを比べよう。声を出して読み、えんぴつでなぞろう。

⑤ 音声を聞いて、聞こえた文字をノートなどに大文字小文字のペアで書こう。

5年 p.44-45 Alphabet Time 3

### 大文字から小文字への変化を考える活動

Alphabet Time 3には、長い歴史の中で大文字がどのように小文字に変化していったかを自由に考え、話し合う活動を設定。自ら考えるので、大文字と小文字のペアが頭の中でしっかりと結びつきます。

### 「読めた！書けた！」の学ぶ喜びと楽しさを

5年生から始まる文字指導において、音声指導では見えてこない「個人差」が現れることがあります。本書では、4線に書かせる前段階として、カードを置く活動からはじめるなど、丁寧に学習を積み上げていく作りです。理論に基づいた体系的な読み書きの活動を通して、一人一人に「読めた！書けた！」という喜びと楽しさを味わってほしいと思います。



はたえみか 畑江美佳

Here We Go! 編集委員 淑徳大学教授

5年

Unit 1  
大文字

Unit 2  
小文字

Unit 3  
大文字と小文字

アルファベットの名前を読み、4線に大文字と小文字を書く活動を行います。

5年 p.44-45 Alphabet Time 3

## Sounds and Letters

アルファベットがもつ「音」に気づかせるコーナーを、5年Unit 4以降の脚注に設けました。5年では全26文字の音に慣れ、6年ではp, bのように似た音を比べ、気づきを促します。



5年 p.61 脚注の Sounds and Letters

「音」を口に出して慣れ親しんだ後、アルファベットを読んで書く活動を行います。

## Fun with Alphabet

Unit内で使った単語や文を、楽しみながら読み書きするコーナーです。語と語の間隔を空けることや、文頭の大文字、ピリオドなど英語を書くときのルールも学びます。

### 5年 Alphabet Timeの内容

Unit 4	文字の音に気づく (a~e)	単語を読む
Unit 5	文字の音に気づく (f~j)	単語を読む
Unit 6	文字の音に気づく (k~o)	単語を読む
Unit 7	文字の音に気づく (p~t)	単語を読む
Unit 8	文字の音に気づく (u~z)	単語を読む

### 6年 Alphabet Timeの内容

Unit 1	文字の音に気づく (p, b)	単語を書き写す
Unit 2	文字の音に気づく (c, g)	単語を書き写す
Unit 3	文字の音に気づく (t, d)	語句を書き写す
Unit 4	文字の音に気づく (s, z)	文の一部を書き写す
Unit 5	文字の音に気づく (f, v)	文の一部を書き写す
Unit 6	文字の音に気づく (m, n)	文の一部を書き写す
Unit 7	文字の音に気づく (l, r)	文を書き写す
Unit 8	文字の音に気づく (ch, sh)	一文を書く

高学年の2年間をかけて、段階的にアルファベットや単語、文の読み書きが学べる、安心の設計です。

Alphabet Time 5

Sounds and Letters f, g, h, i, jのジングルを聞いてから、下の活動をしよう。

① 音声を聞いて、それぞれの単語の初めの文字に○を付けよう。

g / h / i h / i / j f / h / j

g / h / i f / i / j

② 音声を聞いて、それぞれの単語の初めの文字を書こう。

am irl guana

amburger ive

Fun with Alphabet 絵と合う単語を線で結ぼう。

famous strong brave friendly active

5年巻末 p.106 Alphabet Time 5

## 単語や文の書き方

単語や文を書くときのルールやつまづきやすいポイントを、イラストや例文を使ってわかりやすく解説するページを、両学年に設けました。

単語を書くときの注意 文字と文字との間が空すぎたり、つまりすぎたりしないように書こう。

○ tennis × tennis × tennis

ちょうどよい 空すぎ つまりすぎ

6年 p.99 単語や文の書き方

## 4

### 各学年3か所に「まとめ」の活動を設定

各学年3か所にある「まとめ」の言語活動は、「世界の友達」と「You can do it!」の2見開きで構成。「世界の友達」では主に「聞く」「読む」活動を、「You can do it!」では「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」活動を行い、各領域の到達度を確認できます。

### 「聞く」「読む」力を見取ることができる

#### 世界の友達

ここまでのUnitで学んできた表現を聞いたり読んだりする、「受容する」活動を設定しています。次ページのYou can do it!が「やり取り」の活動である場合は、こちらも「やり取り」を設定し、児童が自分のパフォーマンスの参考とすることができます。

全12名の世界の小学生が、生活や夢を話します。異文化理解につながる情報が満載です。

5年 p.46-47 まとめ 世界の友達 1

「聞くこと」の思考・判断・表現につながる、広がりをもたせた設問を用意。

### パフォーマンスの力を見取ることができる

#### You can do it!

「まとめ」ごとに5領域の活動をバランスよく設定しました。

ここまでのUnitで学んできた表現を中心に、「やり取り」や「発表」という「発信する」活動を設定しています。記録に残す評価を行う場面として活用できます。

#### 活動のモデル動画

パフォーマンスのモデル動画を用意。活動に入る前に、活動のイメージを持つことができます。

まとめの活動で児童がよいパフォーマンスを発揮できるよう、大切なことを記しました。

5年 p.48-49 まとめ You can do it! 1



5年 p.78-79 Everyone Is Specialの詩を作ろう。



6年 p.42-43 Me on the Mapを作って日本の紹介をしよう。

#### 多様性、共生の意識を育む活動も

金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」を発想のもとにして、Everyone Is Specialの詩を発表したり、地球市民の一人であることを実感できるMe on the Map作りに取り組んだりするなど、「共生」の意識を育てる豊かな言語活動を設定しています。

# 1 一人一人の「伝えたい！」を大切にした ゴール活動を設定

各 Unit には、児童が興味・関心を持ち、意欲が高まるようなゴール活動を設定しました。児童の「知りたい!」「伝えたい!」という気持ちを大切にできるような活動を精選しています。

She is my hero!

What color do you like?



友達の好きな色を聞いて、  
誕生日カードを塗ったよ!  
(5年 p.33 Unit 1 クラスの誕生日カレンダー作り)

私のヒーロー・阿部詩選手のすごさを  
みんなに伝えたい!  
(5年 p.65 Unit 5 My Hero 紹介)

伝わるってうれしい!

「相手意識」を大切に  
できる場面を随所  
に設定しました。



新しい ALT の先生には、  
春の満開の桜を見てもらいたいな!  
(6年 p.29 Unit 2 日本の行事紹介)

## 安心して取り組める、 アレンジしやすい活動を精選

ゴール活動には、大掛かりな準備や設定の必要がなく、これまでの外国語科でも広く実践されてきた活動を中心に設定しました。安心して取り組み、学校の実態に合わせたアレンジもしやすい内容です。

## 目的・場面・状況を明確に設定

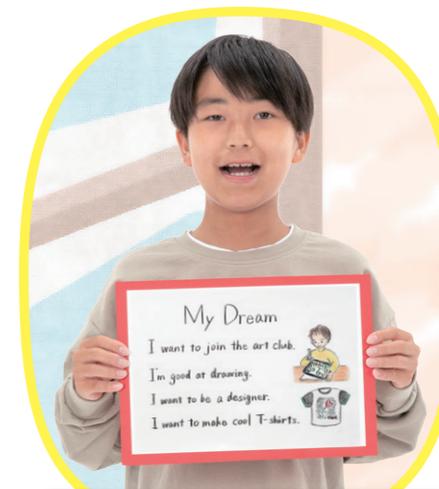
児童が「伝えたい!」と思えるように、コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にしました。誰に何のために伝えるのかという視点を大切に、自分の考えや気持ちを表現する活動を Unit の中心に据えました。

Welcome to our town!



私たちの町のよさを、  
世界の人に知ってほしい!  
(5年 p.97 Unit 8 町紹介)

君の夢も  
知りたいな!

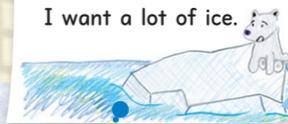


中学生になったら、  
あこがれの部活に入るんだ!  
(6年 p.81 Unit 7 夢宣言)

Polar Bear



I live on the ice.  
I'm big and white.  
I eat fish.  
I want a lot of ice.



「他教科」の学習が生かせる活動を置き、児童の意欲が高まるようにしました。

動物を守るポスターを  
作ろうよ!

(6年 p.59 Unit 5 絶滅危惧種の動物ポスター作り)

「本物の」ことばの学びを

子どもたちが、自分の本当の考えや気持ちを伝え合うことができるように、言語活動を通して、語句や表現を学ぶことが大切です。Here We Go! では、子どもたちの「伝えたい!」という気持ちを中心に据えた「本物の」言語活動を設定しています。

かとうひろゆき  
加藤拓由

Here We Go! 編集委員  
岐阜聖徳学園大学准教授



**2 「既習表現」の活用場面を随所に設定**

Unitのゴール活動をより充実させるために、既習表現を思い出して活用できるようにしました。

**学んだことを生かせるように**

ここで例とする6年Unit1では、右の表現を学びます。しかし、ゴール活動にはこれらの表現だけでは不十分です。考えや気持ちを伝え合うためには、既習表現の活用が欠かせません。より深いゴール活動のために、Small TalkやPlus Oneなど、既習表現を生かせるように工夫しました。

6年Unit1で学ぶ主な表現

- Where are you from? I'm from ....  
I live in ....
- I'm good at .... I'm interested in ....

**思考力・判断力・表現力を育む「漆塗り」の設計**

何度も塗り重ねて完成させる漆工芸の「漆塗り」のように、1つのUnitの中でも、既習表現に何度も触れられるようにしました。Unitのゴール活動では、数々の表現を自分なりに駆使して、自分の思いを伝えようとする中で、思考力・判断力・表現力が育まれるようにしました。

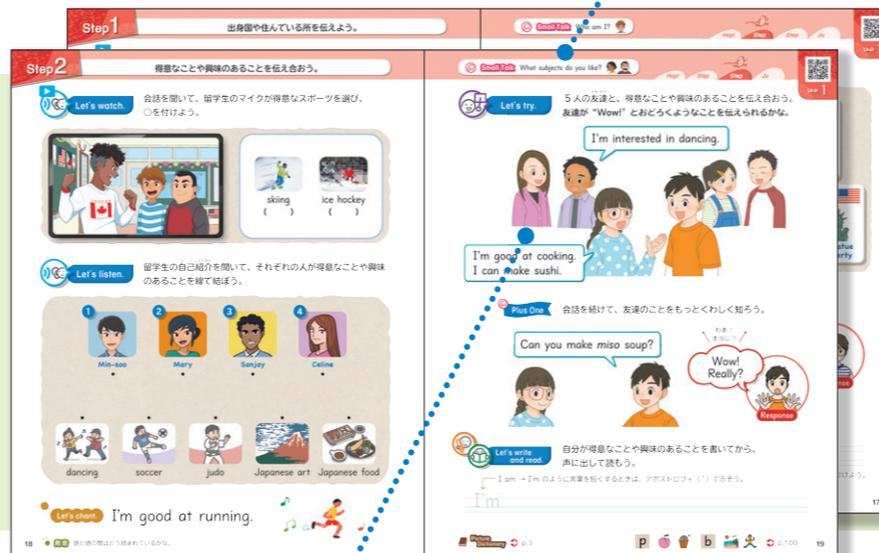


**Small Talk**

Small Talkのミニアニメは、Step 1, 2の紙面にも設定。このミニアニメを話題の手がかりにして、先生は児童とのSmall Talkに展開できます。

**Small Talk** What subjects do you like?

Asha: Shota, **what subjects do you like?**  
Shota: **I like** home economics.  
Asha: Oh, really?  
Shota: Yes. I'm good at cooking.  
Asha: Great!  
Shota: How about you, Asha? (続く)



**Small Talk**

Small Talkのミニアニメを設定。キャラクターが視聴者に語りかけます。右のスキプトの赤字部分は既習表現です。

**Small Talk** Let's have a party.

Asha: Hello, everyone.  
Um ..., **my name is** Asha Bindra.  
**Please call me** Asha.  
I'm from India.  
I live in Kanagawa now.  
Today, **we have** a party at school.  
**We have** special guests.  
I'm excited.  
Let's go to the classroom!

Can you make miso soup?

**Let's try. と Plus One**

Let's try.ではこのUnitで学ぶ表現を使って活動します。さらにPlus Oneでは、自分なりに既習表現を加えて活動を続けます。

このように I like~, I can~, We have~ など、小学校3年生から触れてきた表現に何度も出会うことができます。

**Let's watch and think.**

異文化理解を促す Let's watch and think.の映像にも、既習表現がたくさん! ゴール活動の発話のヒントになります。

Hi. I'm Sion. I'm from Korea.  
I live in Seoul.  
I'm good at taekwondo.  
Taekwondo is Korean martial art.  
**I can** do a high kick.  
**Can you** do a high kick, too?



Phrase Huntでは、上のようなスライドをみんなで見て、ゴール活動で使えるような既習表現をクラス全体で考えて共有します。

2 「既習表現」の活用場面を随所に設定

指導のきっかけになる  
Small Talkのミニアニメ

各 Unit には、教室での Small Talk のきっかけになるミニアニメを新設しました。Here We Go! のキャラクターたちが、教室の児童に問いかけます。先生はキャラクターの問いに答える形で、自身の Small Talk へと自然に展開できます。

楽しい話題がたくさん!

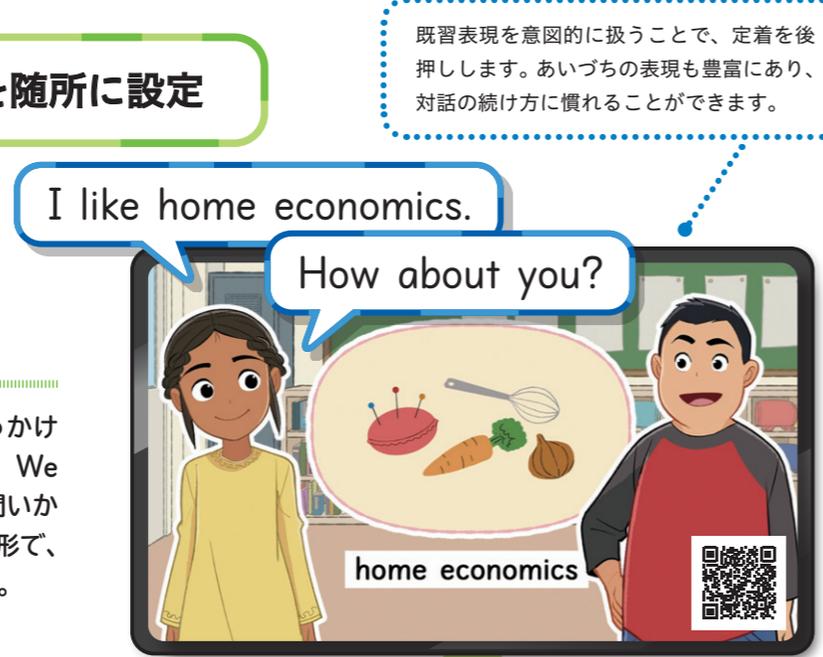
すべての Small Talk を先生がゼロから準備する必要がなく、負担感の軽減にもつながります。



5年 p.93 Unit 8 Step 1 Small Talk



5年 p.95 Unit 8 Step 2 Small Talk



既習表現を意図的に扱うことで、定着を後押しします。あいづちの表現も豊富にあり、対話の続け方に慣れることができます。

6年 p.19 Unit 1 Step 2 Small Talk



キャラクターからの質問に答える形で、教室での Small Talk を自然に始められます。20～30秒程度の映像なので、導入にピッタリです。

試行錯誤しながら伝え合うことの大切さ

子どもたちが自分の本当の考えや気持ちを伝え合うためには、それまでに学んだ語句や表現を活用する必要があります。Here We Go! では、何度も塗り重ねて完成する漆工芸の「漆塗り」をイメージして、既習表現を何度も耳にしたり、口にしたりする機会を豊富に設けています。



ひがし ひとみ  
東 仁美  
Here We Go! 編集委員  
聖学院大学教授

会話を続ける力が育つ  
Plus One

Plus One は、一つ前にある Let's try. で扱った話題を別の相手に伝えたり、さらに詳しく相手に尋ねたりする活動です。自分なりに既習表現を加えて伝えようとする中で、思考力・判断力・表現力を養い、会話を続ける力を育めるようにしました。

Let's try. の活動に補足して行えるため、自然な流れの中で負担なく取り組むことができます。

Let's try. 5人の友達と、得意なことや興味のあることを伝え合おう。友達が“Wow!”とおどろくようなことを伝えられるかな。



Plus One 会話を続けて、友達のことをもっとくわしく知ろう。



6年 p.19 Unit 1 Step 2

中間指導に役立つ  
Phrase Hunt

Unit の Goal には既習表現を思い出すための Phrase Hunt を新設しました。QRコードから見られる表現をヒントに、他に使えるような表現を探し、クラス全体で共有する協働的な学びが実現できます。中間指導にも役立ちます。



6年 p.21 Unit 1 Jump! Phrase Hunt

Phrase Hunt 使える表現をさがして、みんなで共有しよう。



ゴール活動の前に Phrase Hunt の画面をヒントにして教室で話し合うことができます。使いたい既習表現を加えることで、より深いゴール活動が実現できます。

**3** 本体から取り外せる『Picture Dictionary』を各学年に用意

巻末の絵辞典は教科書本体から取り外しが可能になり、より児童が使いやすい仕様になりました。

教科書と並べて使える！  
取り外しができる絵辞典

Picture Dictionary は教科書本体から取り外しができるので、教科書と一緒に開いて参照できます。活動の際に言いたい言葉を探したり、教科書の4線に書き写したりする際に役立ちます。



取り外しができて、本体の元の位置にピッタリと戻せる Book in Book 形式です。

学習者用デジタル教科書  
+ 教材なら

- ノリノリのリズムで単語ジングル音声が再生できる！
- 「カルタゲーム」「マッチングゲーム」「フラッシュカード」などの自習コーナーで楽しく学べる！
- 「My 単語」を追加できる！

16 人

キャラクターによるセリフがあるので、言葉を使う場面のイメージがもてます。

grandmother	grandfather	mother	father
brother	sister	me	friend
neighbor	Who is that? She is my mother. She is a nurse. She is kind.		

17 職業 job

actor	comedian	singer	artist
athlete	baseball player	tennis player	figure skater
chef	baker	farmer	florist

18 性格、人がらなど

active	brave	cool	famous
friendly	kind	strong	cheerful
funny	smart	shy	

職業を表す言葉には、どんな共通点が見つかるかな？

teacher	journalist	designer	robot creator
vet	dentist	nurse	doctor
astronaut	firefighter	zookeeper	

すべての単語が4線にあるので、書き写すときに便利です。

随所に「MEMO」「日本語と比べよう」を設け、気づきを促します。

**MEMO** 秋は fall だけでなく autumn とも言うよ。

**日本語と比べよう** 日本語では、レストラン、スタジアムと発音するけれど、英語ではどう聞こえるかな。

足跡マーク

前の学年で出会った語が一目見てわかるように「足跡」で示しました。

3・4年生で慣れ親しんだ語※1

5年生の教科書で扱った語

各学年の言語活動に  
フィットした語句を厳選

各学年の Unit の言語活動で使いやすい語句を厳選し、紙面を構成しました。適度な分量で、圧迫感なく安心して使えます。

家庭での学習でも繰り返し聞けるように、すべての語の音声をQRコードに収録しました。

自分が使いたいと思う言葉を書き足せる「My 単語」欄を用意しました。

英語学習の強い味方に

後半には「教室英語」や「Response」の一覧、3・4年生で親しんだ表現を一覧で確認できる「外国語活動のふりかえり」ページなどを設けました。授業で困ったときに助けてくれる、子どもたちの強い味方になる絵辞典です。

6年 p.19「教室で使う英語」では、オンライン通話で使えるような表現を新たに紹介。

Can you hear me?  
(聞こえますか。)  
オンラインで話すときにも使ってみよう。

ほしいものを聞いてみよう

何がほしい? What do you want?

5年 p.20-21「外国語活動のふりかえり」では、文部科学省発行の中学年教材 Let's Try! で扱う表現を一覧にしました。

**1** 英語の世界へ引き込む、  
続きを見たくなるアニメーション

今回も全 Unit に個性豊かなキャラクターによるアニメーションを設定しました。

ティナやニックは、  
光村図書の中学校教科書 Here We Go!  
にも登場します。



**Asha Bindra**  
(アーシャ・ビンドラ)

6年生になって、転校してきた。インドのニューデリー出身。



**Nicholas Rios**  
(ニコラス・リオス)

ニックネームはニック。アメリカのニューヨーク出身。好奇心旺盛。



**Robo Cat**  
(ロボキャット)

和希が発明した表情豊かなロボット。学習を助けてくれる。

**Ueda Kazuki**  
(上田 和希)

控え目で優しい。ロボット作りが趣味。

**Sato Yui**  
(佐藤 結衣)

しっかりもので負けず嫌い。海外に住んでいたことがある。

**Christina Rios**  
(クリスティーナ・リオス)

ニックの姉。ニックネームはティナ。中学生。

**Dan Smith**  
(ダン・スミス)

リリーの兄。車いすバスケットボールの選手。



**Lily Smith**  
(リリー・スミス)

オーストラリアのシドニー出身。兄のダンがあこがれの人。

**Kaneko Shota**  
(金子 将太)

ひょうきん者でおおらかで、食いしん坊。みんなを明るく盛り上げる存在。

楽しんで学ぶ、  
くり返し見たくなる

各 Unit の Hop! と Step に、ストーリーのあるアニメーションを視聴する活動を設けています。魅力的な登場人物たちのアニメーションで、楽しみながら英語に触れることができます。

新しい教科書でも、  
キャラクターたちが  
学習を応援します！

現行版の Here We Go! をお使いの学校でのエピソードです。教科書の Let's listen. の問題に登場する将太について、先生が「選択肢が二つ残ったけど、将太はどっちの料理を選ぶかな？」と児童に問いかけたところ、5クラス中4クラスの児童が「食いしん坊の将太なら、絶対両方を選ぶよ!」という反応してくれたそうです。キャラクターの個性に愛着をもって友達のように接してくれているのが伝わってきます。また、他の学校のみなさんからは、キャラクターたちへ愛情いっぱいのお手紙が届きました。新しい教科書でも引き続き、個性豊かなキャラクターたちが児童のみなさんの学習を支えます。

- Hop!** Story で一話分のアニメを見る。
- Step 1** Let's watch. でアニメの一場面を見る。
- Step 2** Let's watch. でアニメの別の一場面を見る。

**Mr. Hanai Shuntaro**  
(花井 俊太郎先生)

ニックたちの担任の先生。  
楽しんで英語を勉強中。



**Ms. Olivia Miller**  
(オリビア・ミラー先生)

英語の先生。カナダのトロント出身。旅行が大好き。



個性豊かなキャラクター

アメリカやオーストラリア、インドにルーツのある子、彼らを取り巻く先生や家族など、多様な個性やバックグラウンドをもった仲間たちが登場します。キャラクターやストーリーに共感し、楽しみながら英語に触れられます。

特色 1  
特色 2  
特色 3

**1** 英語の世界へ引き込む、続きを見たくなるアニメーション

**ストーリーが英語の学習に効果的な理由**

ストーリーを通じた学習には、豊かなインプットとアウトプットにつながる3つの理由があります。

**1** 目的・場面・状況が明確にわかる

キャラクターの動きや表情を大切にしたいアニメーションは、目的・場面・状況が子どもたちに明確に伝わります。場面や状況にあった自然な英語の力を身につけることができます。

**2** 楽しみながら、何度も触れられる

ストーリーには、個性豊かなキャラクターたちのにぎやかで楽しい会話が盛りだくさん。続きが気になるから、くり返し楽しみながら視聴することができます。

**3** 「自分ごと」として考えられる

同年代のキャラクターたちが話す内容を共感しながら聞くことで、「自分ならどう答えるか」という意識が芽生え、英語で話そうとするきっかけになります。

ストーリーの例

5年 Unit 8 This is my town.

**場面・状況** プエルトリコに住むニックのいとこのアナから、自分の町を紹介する映像が送られてきたよ。

映像: プエルトリコで泳いでいるアナ

Anna: Hola!

ニック: プエルトリコでは、ビーチで泳いだり、きれいな夕焼けが見られるよ。

映像: ニックとアナがビデオ通話中

ニック: アナのビデオ、おもしろかったね。プエルトリコに行きたくなったな。

映像: ニックが「our town」のビデオを送る

Nick: That's sounds interesting!

ニック: 私たちの町について、ビデオレターを作ってアナに送ろうよ。

映像: ニックが町の地図を説明する

ニック: 町には何があるかな？

ニック: ビーチはないなあ。でも、素敵な港があるよ。

映像: ニックとアナが話している

ニック: こんにちは！私たちの町には……

QRコード: 映像の続きはこちらから視聴できます。

豊かな話題で、もっと見たくなる

大人気のキャラクターたちによる新しいストーリーが満載です。今回は新たな人物も登場します。子どもたちがより興味をもてるように、今日的なテーマも随所に盛り込んでいます。

5年 Unit 3 What subjects do you like?

映像: オンライン会話で世界の友達とつながるよ

QRコード

6年 Unit 4 My Summer Vacation

映像: SDGs

QRコード

SDGsや絶滅危惧種の話も

映像: 図書館で本を読む

QRコード

6年 Unit 5 We live together.

アニメーションはNHK英語教育番組『リトル・チャロ』を手掛けた Spooky graphic 社が制作。キャラクターたちに生き生きとした動きと表情を与えています。

車いすのダンに道案内「車いすならこっちの道がいいよ」

映像: 車いすのダンが道案内をする

QRコード

5年 Unit 6 Where is the library?

5年 Unit 7 What would you like?

映像: 新キャラ「ムタイさん」も登場!

QRコード

ストーリーは学ぶ意欲を育てます

この教科書には、登場人物がさまざまな英語を使うストーリーが設定されています。ストーリーの中で出会う英語には、言葉の学びに必要な「目的」「場面」「状況」の3つの要素がそろっています。これらをくり返し視聴することで、子どもたちは自然な英語を豊富にインプットすることができます。また、自分の友達のような登場人物に共感することで、しだいに「自分ならこんなふうに答えたい」という気持ちが子どもたちに芽生えていきます。ストーリーは、自分のことを伝えるきっかけにもなるのです。そのストーリーを、子どもたちは「楽しいから」「おもしろいから」「キャラクターが好きだから」何度も見たくなります。このように、ストーリーは子どもたちの学習のモチベーションとなります。



おおた ひろし  
太田 洋  
Here We Go! 編集代表  
東京家政大学教授

2

# 学習の成果が見える「All About Me」

年間の自分の学びが可視化されるよう、各学年の巻末に成果が一覧できるシートを用意しました。「プロフィール帳」の感覚で、英語の学びの足跡をポートフォリオのように残していくことができます。

## 自己紹介に使えて、学びの記録になる

Unitの学習の最後に、自分のことを一つシートに書き込んでいきます。学年の最後には、自己紹介に使えるシートが完成し、自身の学びの記録が一枚にまとまります。写真を貼ったり、好きな色でイラストを塗ったりして、愛着のあるシートに仕上げることができます。



シートは教科書から切り離すことができます。自分だけのシートをつくらう！

This is me!



使い方はこちらから



5年 Unit 3までは、英語でも日本語でも書き込めるような空欄にしています。4線以上に英語を書くのはUnit 4から。

Unitの Jumpの活動が終わった後、学んだ表現を使って、自分自身のことについて書き残す設計です。

巻末の「All About Me」のUnit 5に、あなた自身のことを書き入れよう。 p.110

## さまざまな用途で使用できる

県外や海外の学校との交流や、中学校の自己紹介で使うなど、さまざまな用途で使えるシートです。名前を隠して読み合っって誰のものかを当てる活動や、卒業時に教室に掲示して、保護者の方に見てもらおうといった使い方もできます。



他校との交流で！



言語活動やゲームで。

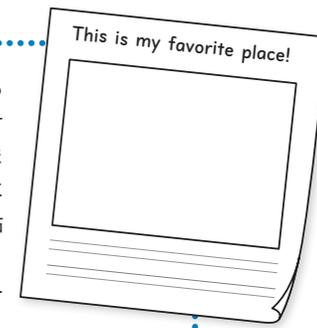


教室に掲示して。



中学1年の自己紹介で！

上辺に緑の水玉模様があるセクションには、「おまけシート」が設定されています。もっと書きたいときには、シートに書きこんで貼り付けることができます。「おまけシート」はQRコードに入っています。



## 3

### 口ずさみたくなる、 チャンツ・歌・絵本教材

楽しみながら英語の力がつくオリジナル  
チャンツを、全 Unit に設定。  
英語の歌や絵本教材も充実しています。

### オリジナルのチャンツ

Unit の Step 1、Step 2 で学習する表現を楽  
しく学べる全 32 のチャンツを用意。自然な会  
話形式の中でくり返す作りになっていて、リズ  
ムどおりに発話すれば、実際のコミュニケー  
ションで伝わる英語が身につきます。

#### 学習者用デジタル教科書 +教材なら

- 1 歌詞のタイミングがばっちりわかる  
ガイド表示付き
- 2 歌詞の後に続いて一文ずつ発話でき  
るポーズ入り
- 3 メロディーのみ  
の3つのバージョンがあり、個々の  
学びに合わせて練習できます。

地域の魅力を伝える  
「ご当地チャンツ」が聞ける!



Welcome to Hokkaido.  
We have a popular zoo.  
You can ....

5年 p.100-101  
「ちいきのみりよくを伝えるチャンツを  
作ろう。」では、楽しい「ご当地チャンツ」  
のメロディーに合わせて、自分の町紹  
介チャンツが作れます!



#### Step 1 のチャンツ

5年 p.60, 62 Unit 5

Let's chant. She is my sister.

60 発音 Who is this? 最後は声をしっかり下げよう。

発音のアドバイス付き。

#### Step 2 のチャンツ

Let's chant. She is active.

62 発音 active の v は日本語の「ブ」にならないように。

#### Step 1 のチャンツ

A: Who is this?  
B: She is Tina Rios.  
She is my sister.  
She is a good singer.  
A: Oh, is she?  
A: Who is this?  
B: He is Kaneko Shota.  
He is my friend.  
He can run fast.  
A: Oh, can he?

#### Step 2 のチャンツ

A: This is my friend.  
She is active.  
She can swim fast.  
This is my teacher.  
He is cool.  
He can do judo well.  
B: Oh, really?

かけ合いの形になっ  
ているので、ペアでも楽  
しく練習できます。



前回に引き続き、チャンツは経験豊富な指導者と  
ネイティブスピーカー、作曲家が監修、作成しています。



アリーダ・クラウス

児童英語教育に長年携わる。世界中  
で使われている児童向け英語教材  
SuperKids (ピアソン) の著者です。



戸田ダリオ

「英語であそぼ」など NHK 教育番  
組に多数出演。作曲から声の主演  
まで総合的に協力してくれました。

### 英語の歌

英語の音やリズム、文化的背景に触れられる伝承的  
な歌を中心に、全 17 曲、全ての Unit に掲載。授  
業のウォームアップで歌うことはもちろん、給食の  
時間の BGM や学校行事での合唱などに使えます。

#### 【5年】

- Let's Start ABC の歌
- Unit 1 Hello to the World
- Unit 2 Sing, Sing, Together
- Unit 3 I Love the Mountains
- Unit 4 Who Took the Cookies from the Cookie Jar?
- Unit 5 Humpty Dumpty
- Unit 6 The Hokey-Pokey
- Unit 7 Pease Porridge Hot
- Unit 8 Go Round and Round the Village

#### 【6年】

- Unit 1 How Do You Do?
- Unit 2 Swimming, Swimming
- Unit 3 This Is the Way
- Unit 4 A Sailor Went to Sea
- Unit 5 The More We Get Together
- Unit 6 Lavender's Blue
- Unit 7 I Think You're Wonderful
- Unit 8 Make New Friends

### 英語の物語

海外で広く語られる物語や、  
オリジナルの話を選んでいます。  
各巻末にある「英語の物語」  
は、学習した表現を使用しているため、自分一人で  
「英語を読む」感覚をつかむことができます。



5年 The Gingerbread Man (p.67)  
Yes, you can. (p.102) オリジナル

6年 Kurikindi (p.96)

各学年の「巻末の  
物語」には、SDGs  
に関連した設問を  
置きました。



Humpty Dumpty  
マザーグースや伝統的な歌も。



Swimming, Swimming  
歌詞に合わせて体を動かす歌も。

#### 歌の楽しさと学習効果

言語には各言語特有の音とリズムが  
あります。英語の歌を聴いたり歌っ  
たりすることは、英語の音やリズム  
の体得につながる、外国語学習に欠  
かせない第一歩です。本書には、英  
語圏で長い年月歌い継がれている  
伝承唄や、児童の発達段階に合う  
メッセージ性、ストーリー性、遊戯  
性のある歌を掲載しています。



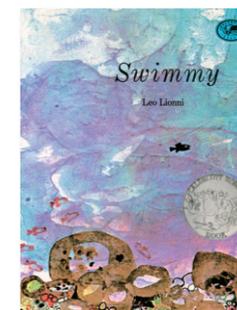
きぬがさともし  
衣笠知子

Here We Go! 編集委員  
園田学園女子大学教授

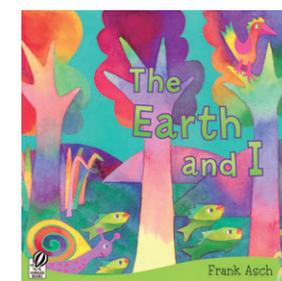
### 絵本の紹介

定番のものから SDGs につながるものまで、  
学習意欲を高める海外の絵本を紹介しています。

Swimmy



The Earth and I



6年 p.98 おすすめの絵本

**4** 世界の多様性に気づく  
「Let's watch and think.」「世界の友達」

現行の教科書で好評の世界の小学生の映像を新たに撮影し、教材にしました。  
各国の小学生の映像を見て、多様な価値観に触れられるようにしました。

多様な価値観に触れ、  
地球市民を育てる

世界 12 か国の実際の小学生が、教科書の取材に全面協力してくれました。Unit の Let's watch and think. コーナーや、「世界の友達」ページで、小学生のメッセージを映像で紹介。多様な文化や価値観に触れて見方・考え方を広げ、グローバルに考えられる地球市民を育てます。

みんな地球の仲間だよ！  
**Let's be friends!**

12カ国の映像は、すべて新たに撮り下ろしました。世界の今を伝える映像が、教科書紙面のQRコードから見られます。



映像ではネイティブの英語だけでなく、  
さまざまな英語 (World Englishes) に触れて国際感覚を養います。

This is my favorite place.



モルディブのきれいな海、みんなに見てほしいな。

世界の今を、本人の言葉で

映像は役者によるフィクションとは異なり、世界に暮らす小学生が登場します。世界をより身近に感じながら、実際の生活や文化を知ることができます。撮影時には、本人が伝えたいことを丁寧に聞き取って取材し、日本の学習者に理解できる内容で話してもらいました。

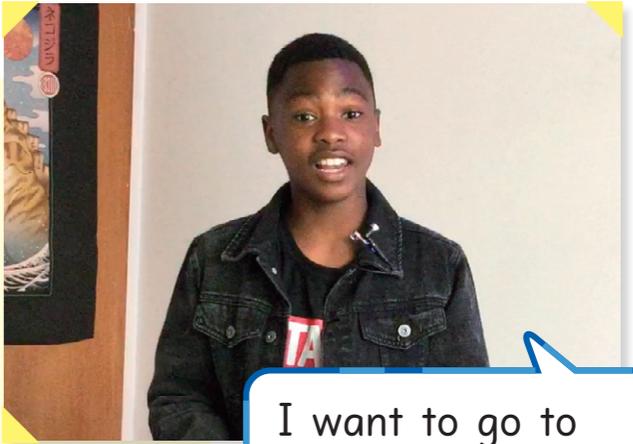
I like soccer very much!



地元チームのバイエルン・ミュンヘンが大好き！

日本の忍者村に行きたいんだ！日本のマンガ『Naruto』が大好きだからね。

I want to go to the Ninja museum.



地球市民を育てよう

グローバル化する社会に必要なのは、英語の習得だけでなく、多様な視点から物事を見て異文化の他者を受け入れようとする姿勢です。特にあまり見聞きしない国・文化について、私たちは一部の情報をもとに、間違った見方をしてしまうことがあります。Here We Go! では、映像を通して世界の小学生のリアルな日常に出会えます。このことが、ステレオタイプからの脱却につながることを願っています。そして、学習する子どもたちには、英語を通して世界中の人と友達になれること、同じ星に共に住む地球市民の仲間であることに気づいてもらいたいと思います。



あだちりえ  
安達理恵

Here We Go! 編集委員  
椋山女学園大学教授

学習者用デジタル教科書  
+教材なら

- 字幕の ON / OFF 機能が使えます。
- +教材のみに収録した「特典映像」が見られます。

## 5

### 他教科連携、SDGs等への対応

英語の学びと他教科の学びをつなぎ、社会で生きて働く知識・技能の習得を目指すとともに、今日的な課題に対応できる資質・能力の育成を目指しました。

### 国語や他教科との連携を強化

「言葉について考えよう」では、国語と英語の共通点や相違点を考えることで、深い学びの実現を目指します。

日本語と英語では語順にどんな違いがあるかな。

国語

言葉について考えよう 1

日本語と英語のちがいを比べて、気づいたことを話し合おう。

● 家族を表す語

どんなことに気づいたかな。

5年 p.66 言葉について考えよう 1

国語

言葉について考えよう 2

文の組み立て

同じ意味を表す文でも、言語によって組み立て方が異なるよ。比べてみよう。

① 「自分は魚を食べる」ということを、日本語と英語ではどのように表すかな。以下のカードを組み合わせて、それぞれの文を作ってみよう。

日本語	魚	英語	fish
わたし	食べる	eat	I

どんなことに気づいたかな。

6年 p.60 言葉について考えよう 2

Me on the Mapを作ろう。



6年 p.42-43 You can do it! 1

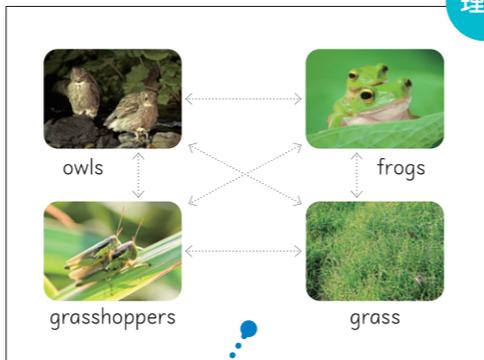
国語

わたしと小鳥とすずと  
金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、  
お空はちつとも飛べないが、  
飛べる小鳥はわたしのよう  
地面を速くは走れない。

金子みすゞの詩から発想を広げよう。

理科



6年 p.55 Unit 5

食物連鎖の関係を思い出そう。

社会



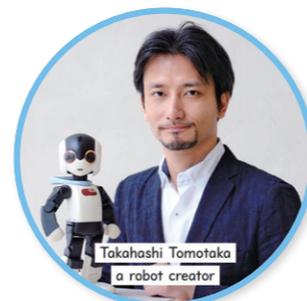
Link 国語

他教科連携はこのアイコンが目印です。

### キャリア教育・防災教育の視点

将来の職業選択、自分らしい生き方の実現に資するよう、キャリア教育にも配慮しました。また、災害時に自らの命を守る行動が取れるように、英語を通して防災教育にも力を入れました。

キャリア



5年 p.58 Unit 5

6年 p.78 Unit 7

理由

( ) ( )

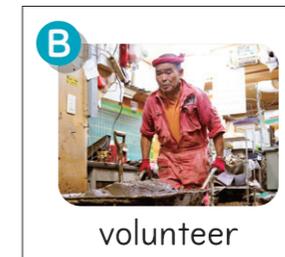
憧れの人はどんな職業に就いているかな。

防災

6年 p.31 災害と英語



被災して防寒具がないときには、どんなものが役に立つかな。

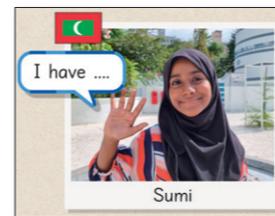


5年 p.67 災害と英語

### SDGsにも対応

地球に生きるひとりとして、共生の意識を高め、全ての人暮らしやすく持続可能な社会の実現のために、さまざまな題材を通して視野を広げます。

挿絵がヒントになる絵本にして、学習した表現を中心に構成しています。



5年 p.42 Unit 3

6年 p.58 Unit 5



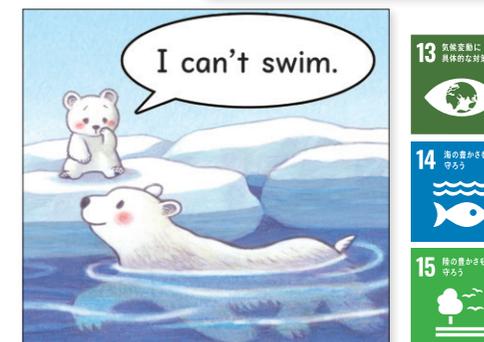
13 気候変動に具体的な対策を  
14 海の豊かさを守ろう



5年 p.74 Unit 6



5年 p.102-103  
6年 p.96-97  
英語の物語



13 気候変動に具体的な対策を  
14 海の豊かさを守ろう  
15 陸の豊かさを守ろう



"The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States."

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>

## ICTを活用しよう

小学校の外国語の授業でどのようにICT 機器が活用されているかを紹介。ICT 機器の積極的な活用につながるようにしました。



6年 p.61 ICTを活用しよう

## Let's Start

新学年の明るいスタートが切れるよう、5・6年の巻頭にスタート教材を用意。5年生は、3・4年生で触れた内容をふり返ることができるページを設けました。



5・6年 p.10 Let's Start 1 いつも「たいせつ」

左側を飛び出すように開いておけば、どのページを開いても「いつも「たいせつ」」が確認できます。

## 巻末カード

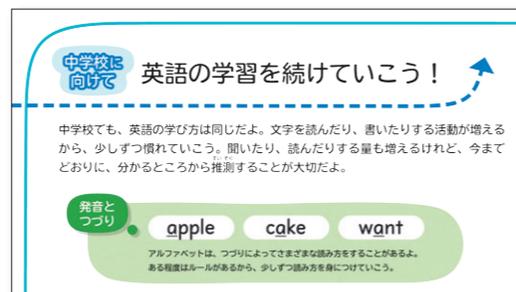
活動の際に使用する絵カードを、巻末に付けました。ハサミなして取り外しができるように、ミシン目がついています。



巻末カード

## 英語の学習を続けていこう！

中学校の英語学習で身につけていく力、できるようになることをわかりやすく紹介します。学習者のモチベーションを上げて、中学校につなげます。



6年 p.108-109 英語の学習を続けていこう！



小学校の先生になるために、毎日、英語の学習を続けていこう。

## 全体構成に関する工夫

これまで各学年9つあったUnitを8つにし、さらに各学年3つの「まとめ」の活動を新設しました。数Unitごとにある「まとめ」は、それまでに学習した語句や表現を使って取り組みます。Unitでの学習を、時間をおいて別の場面でくり返し活用するような構成にすることで、学習したことが定着するようにし、確かな学力の育成につながるようにしました。



## 言語材料の配列の工夫

例えば、中学年で使った好きなことをたずねる表現は、5年Unit1でWhat sport do you like? と、好きなスポーツをたずねる際に触れます。さらに5年Unit3でWhat subjects do you like? と、好きな教科をたずねる際にも触れます。また、中学年で登場したThis is my favorite place. という表現であれば、5年Unit8の町紹介で使えるようにしています。このように、場面を変えてスパイラルに既習表現に出合うことで定着を図れるようにしました。

## 語彙選定の工夫

文部科学省の教材 We Can! や Let's Try! との対応はもちろん、現行版の中学校外国語検定教科書や英検3～5級、CEFR-Jや国際的な語彙の基準等を基に語彙を分析し、教科書で触れる語彙を712語に設定しました。また、小学生がなりた職業の上位にある「保育士」「美容師」などを新たに加えたり、身の回りのものを表すものとして tablet や smartphone などに加えたりして、児童が使いたい語彙を参照できるように工夫しました。

### Here We Go! 基本データ

年間70単位時間の授業に対応した、適切な教材数を設定しました。各Unitは7時間に統一しています。

※1 Let's Start や、言葉について考えよう、英語の物語を含んでいます。Let's Start は、1教材として数えています。

	5年	6年	合計
学習する主な語彙の数	506	206	712
Unitの数	8	8	
まとめの数(世界の友達 / You can do it!)	3	3	
他の教材の数 ※1	5	5	
Unitの配当時間	56	56	
まとめの配当時間(世界の友達 / You can do it!)	9	9	
他の教材の配当時間	5	5	
配当時間の合計	70	70	

## 学習に必要なすべてのコンテンツがいつでも視聴できます

教科書紙面にある QR コードからは、アニメーションや実写の活動動画、リスニング音声などを自由に視聴できます。授業でも家庭でも、学習を支えます。

5年生 Unit 6 Hop! Story



場面設定やキャラクターの動きや表情を大切にしたアニメーションを、全 Unit に設定しました。



5年生 Unit 8 Step 1 Small Talk



授業での Small Talk のきっかけになるミニアニメを、新たに収録しました。



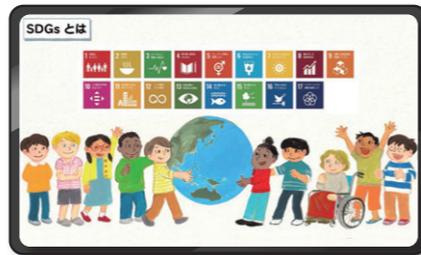
5年生 Unit 4 Jump! Let's speak.



実写による言語活動のモデル動画を新たに収録し、ゴール活動をイメージしやすくしました。



教科書共通コンテンツ



感染症対策や SDGs、防災など、大切な内容を「教科書共通コンテンツ」として新たに収録しました。



### 教科書 QRコード収録コンテンツ数

	5年生				6年生					
	Story	Let's watch.	Small Talk	他(※1)	Story	Let's watch.	Small Talk	他(※1)		
アニメーション	8	16	24	53	8	16	24	52		
実写動画	11	11	1	1	12	11	1	1		
音声	23	17	8	4	110	22	15	8	5	117
画像・PDF	Phrase Hunt		All About Me		Phrase Hunt		All About Me			
	8		1		8		1			
教科書共通コンテンツ	タブレットなどを使うときは / 感染症対策 / 防災 / SDGs / 学校で使う日本語				タブレットなどを使うときは / 感染症対策 / 防災 / SDGs / 学校で使う日本語					
	7				7					

※1 アルファベット筆順アニメーションなど ※2 Sounds and Letters、Picture Dictionary など

アニメーション × 201

実写動画 × 49

音声 × 329

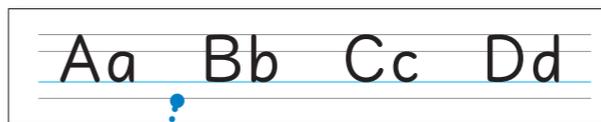
画像・PDF × 18

教科書共通コンテンツ × 14

## 5・6年生 合計611点のコンテンツを収録

## 読みやすく、書きやすい書体

オリジナルの英語の書体を独自に開発して使用しています。



オリジナルの英語の書体

- 文部科学省の教材 We Can! や Let's Try! で使われている書体と4線の幅を踏まえ、特別支援への配慮を重視した書体を自社で作成しました。
- 光村図書が発行する小学校国語や書写の教科書でも同じ書体を使用し、アルファベットやローマ字の学習が連携できるようにしました。

## 会話を聞いて、結衣のあこが

日本語は UD 書体

- 日本語は、教科書のために開発されたユニバーサルデザイン書体を使用しています。弱視の児童にも読みやすく、書き文字としても正しい形の丸ゴシックです。
- 文字サイズは読みやすい大きさに、当該学年以上の漢字にはすべてふりがなを付しました。

## 特別支援への配慮

特別な支援を要する児童にとっても使いやすいよう、全ページにわたり、専門家の指導・校閲を受けました。

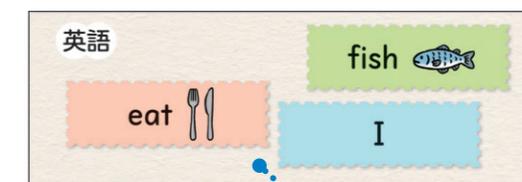
She is my teacher.  
She can do kendama.

5年 p.64  
Unit 5 Jump! Let's read.

英語の文は、可能な限り一文ごとに改行して文頭をそろえました。

## カラーユニバーサルデザイン

色覚特性のある児童にも学習しやすい紙面を目指し、専門家の指導・校閲を受けました。



6年 p.60  
言葉について考えよう 2

区別して示すときは、見分けやすい色使いにしました。

## 「教科書共通QRコンテンツ」を新設

新たな QR コンテンツとして、子どもたちといっしょに考えたい今日的課題を「教科書共通 QR コンテンツ」にまとめ、教科書裏表紙の QR コードからアクセスできるようにしました。「タブレット使用時の注意点」「感染症対策」「防災」「SDGs」「学校で使う日本語と多言語」の5つのテーマのコンテンツがあり、専門家が監修をしています。保護者の方にも安心感をもってもらえるような内容で構成しました。



感染症対策を伝える QR 動画

# デジタル教科書・デジタル教材

一人一人に合わせた「個別最適な学び」を実現し、主体的に学習に取り組む態度を育みます！

## 学習者用デジタル教科書

紙の教科書と同一の内容をデジタル化したもので、便利な機能が使えます。

### 読み込み速度がスピードアップ！

教科書紙面データを軽くし、紙面の読み込み速度を5分の1以下に短縮（当社比※1）。授業を止めることなく使用できます。

### リフロー/ハイライト

文字の種類や大きさ・色、行の間隔等を設定して、文章を読みやすく表示することができます。文字のハイライト（強調表示）機能を使用することもできます。



### 音声や映像に、紙面から直接アクセスできる！

紙面の各コーナーに設けた赤い起動ボタンから、すぐに音声や映像にアクセスできます。アニメやチャンツは、好みの速度で視聴できます。

### ナレーターの朗読音声を収録！

紙面にある英語の箇所の読み上げ機能には、ネイティブのナレーターによる朗読音声を収録しました。

### 紙面読み上げ機能の速度調節も！

紙面の読み上げ機能では、13段階から好みの速度を選んで、音声を再生することができます。

### 学習履歴を確認できる！

学習履歴（表示ページ・回数・時間等）を先生が確認できるので、個別の指導に役立てることができます。

### 授業支援ソフトと連携！

授業支援ソフトを組み合わせれば、共同作業やコメントを送りあうこともでき、協動的な学びを推進できます。

### その他の主な機能

- 機械音声での読み上げ機能（英文以外の箇所）
- 読み上げ時の文字のハイライト機能
- すべての漢字にふりがなを表示する「総ルビ」機能
- 色反転機能（効果的な箇所のみを反転処理）
- スタンプ機能
- 自由な書き込み機能

※上記の「学習者用デジタル教科書」の機能は、小社が発行するすべてのデジタル教科書に共通します。

## 学習者用デジタル教科書 + 教材

「学習者用デジタル教科書」に、映像や音声などの教材をプラスし、ふりかえりの機能などを搭載しました。

### 個の学びに応じた調整ができる

- 音声や映像の速度調節はもちろん、字幕のON/OFFを個に応じて自由に設定できます。
- チャンツの動画は、字幕ありなし、リピート練習用、カラオケ用動画があり、自由に切り替えができます。
- 歌は、歌詞付きのアニメーション動画が視聴できます。

### 家庭での学習もサポート

- 「自習コーナー」には、カルタゲーム、マッチングゲーム、フラッシュカード、アルファベットのなぞり書きの練習などのコンテンツを搭載し、家庭での学習にも活用できるようにしました。
- フラッシュカードは、絵と文字のサイズの調整や、速さの調整が児童にも簡単に操作できるので、家庭での学習にもおすすめです。

### 学習内容をふりかえる

- ふりかえりシートをデジタル化。各活動の自己評価の記録を先生に送ることができます。
- 新たに Response スタンプを収録。先生が児童に一言コメントを返すときにも役立ちます。

### Picture Dictionaryの機能

- 言語活動に必要な単語が脇に示されるので、児童は使いたい単語をすぐに確認できます。
- 他にも、ジングル音声や、自分に必要な単語を自由に登録できる My 単語機能を搭載しました。



ここから単語を選んで使えます。

### スタンプが充実しました！

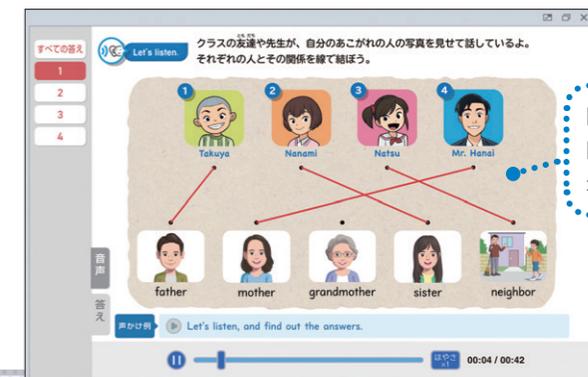


My 単語が追加できます

## 指導者用デジタル教科書 (教材)

「学習者用デジタル教科書 + 教材」に、解答表示機能や評価支援の機能を搭載しました。

- 解答表示（1問ずつ）
- 活動の声かけ例を英語で表示（音声も収録）
- 単語カード最大25枚を一画面に並べて提示
- カードの形式を選んで使えるフラッシュカード
- 児童の正解率やふりかえりを確かめられる、評価支援機能
- ワークシートやテスト問題など、指導用資料のダウンロード



問題の解答を1問ずつ選んで表示できます。

※収録内容、仕様などに関しては開発中のため変更になることがあります。 43

# 指導書・教材のご案内

## 学習指導書セット

### 朱書 (日本語版・英語版)

教科書の紙面に、授業の流れ、活動の手順、解答例などを掲載した冊子です。ALTのための英訳版朱書も用意しています。ALTとのチーム・ティーチングに役立ちます。



朱書 (日本語版)



朱書 (英語版)

**Writing about the heroes introduced**

Have students write and then read what they wrote out loud.

**Point** It is also good to have students exchange what they have written with their partner.

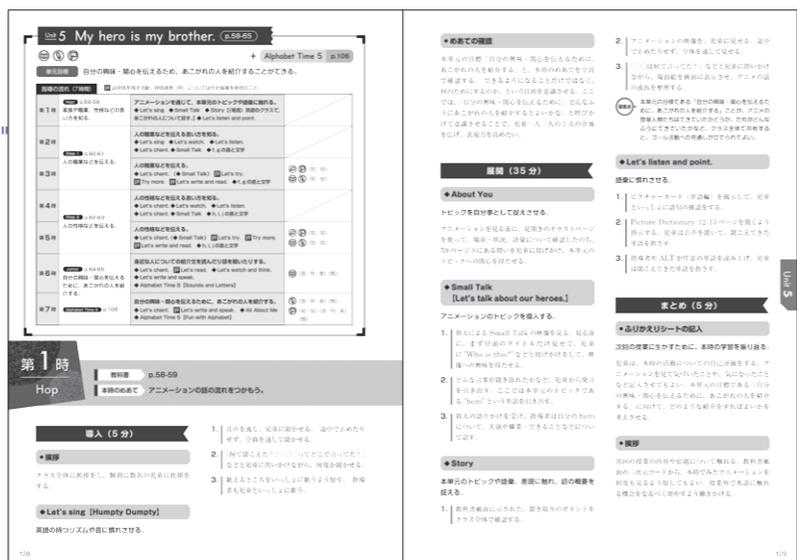
- Understanding of sounds and letters. **f g**
- Go over the jingle and have students listen for the "f" and "g" sounds
- Chant the jingle with the whole class.

## 学習指導書セット

「指導書」では、年間指導計画や1時間ごとの指導案、評価の例などを紹介。他にも、「ラウンド制指導ガイド」や、新たに「デジタル教科書・教材 活用ガイド」を含めた充実のセットを企画しています。

### 学習指導書セット収録内容

- 指導書
- ワークシート集
- 朱書 (日本語・英語)
- ラウンド制指導ガイド
- 図説
- デジタル教科書・教材 活用ガイド
- データDVD



指導書 (指導案)

## 指導用・児童用教材

### 指導用教材

### ピクチャーカード



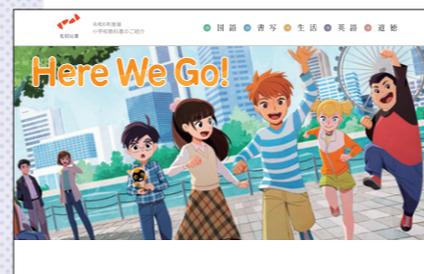
活動で使用する語をA4サイズのカードにしました。令和6年度版の語彙に対応しています。

### 発売中

タイトル	価格 (税込)	詳細
小学校 学校掲示物セット	5,500 円	B2 判ポスター 16 枚と、学校内の施設名を英語で記した B5 判カード 24 枚のセット。4 色刷、音声・画像データの無料ダウンロードに対応。
小学校 教室英語ハンドブック	990 円	授業に役立つ教室英語をコンパクトにまとめた担任の先生のための一冊。A5 判、80p、2 色刷。
(標準版) 小学校英語 はじめてのアルファベット練習帳	275 円	アルファベットの書き方、ヘボン式ローマ字、単語の 3 章で構成された、小学校 3 年生から使える練習帳。AB 判、48p、4 色刷。

## ウェブサイト

教科書紹介サイトからは、教科書の内容解説資料や、年間指導計画資料、CAN-DO リストなどがダウンロードできます。また、教科書連動コンテンツ「広がる学び 深まる学び」からは、教科書紙面の QR コードから見られる動画や音声などをいつでも閲覧できます。



### 児童用教材 (準拠版)

### 学習ノート

教科書と同じ幅の 4 線を印刷した児童用教材です。この一冊で、アルファベットや単語の学習もできます。

### 内容

- 4 線が印刷された学習ノート。
- 教科書キャラクターの一言コメント付き。
- アルファベット、単語のなぞり書き、文の書き写しができる。



## 拡大教科書

弱視の児童や特別な支援を要する児童の負担を軽減するために、文字や画像を大きくした教科書を用意します。教科書の単純拡大ではなく、教材内容を損なわないように再構成しています。

